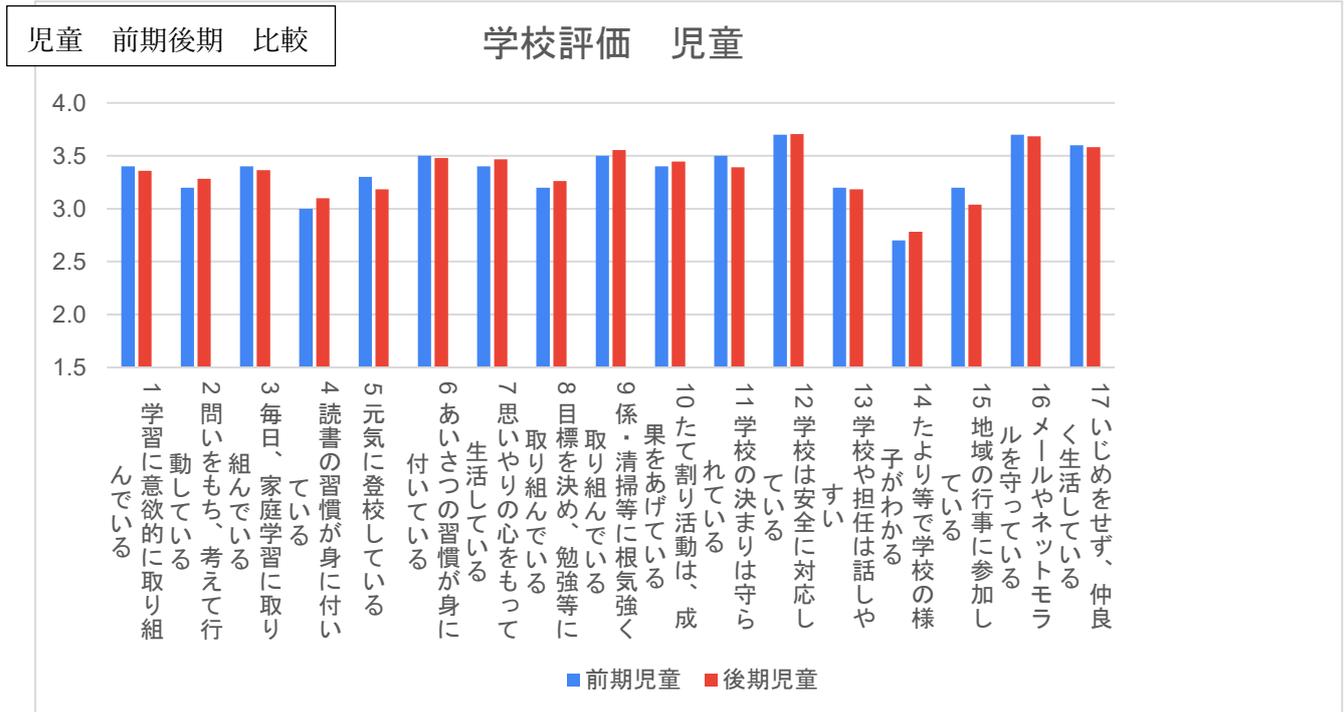


## 令和7年度 後期 学校評価 考察

令和8年1月吉日

後期学校評価アンケートのご協力ありがとうございました。いただいたご意見をもとに、来年度に向け学校運営に生かしてまいります。後期は主に前期と比較をして考察しています。なお、自由記述をされた方で「回答を希望する」を選択された方には、直接連絡をさせていただきますこととしております。学校評価の件でご質問等ございましたら、学校へお問い合わせください。



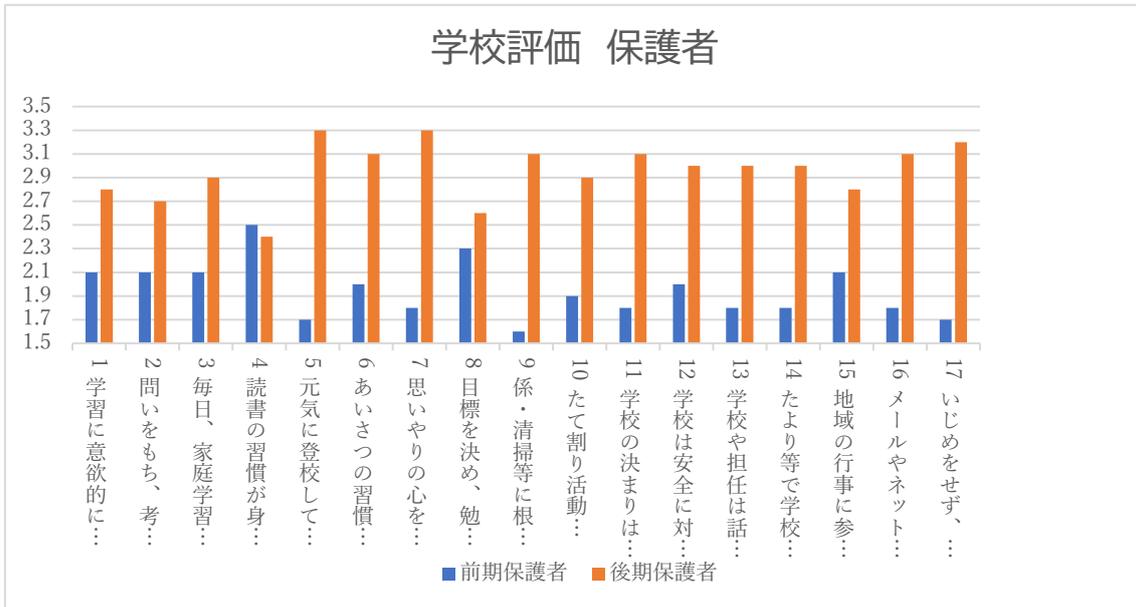
※質問項目は簡略化して記述。グラフ左軸数値 0.0～1.5 部分は省略（以下同様）

グラフの数値は小数第2位までの数値で記載、下記は小数第2位を四捨五入。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
前期	3.4	3.2	3.4	3.0	3.3	3.5	3.4	3.2	3.5	3.4	3.5	3.7	3.2	2.7	3.2	3.7	3.6
後期	3.4	3.3	3.4	3.1	3.2	3.5	3.5	3.3	3.6	3.4	3.4	3.7	3.2	2.8	3.0	3.7	3.6

前期と比較して、上昇した項目については 0.1pt 程度の微増であり全体として大きな変動は見られませんでした。No12 および No16 の数値から、子供たちが「学校は安全に対応している」「メールやネットモラルを守っている」と実感している様子が伺えます。しかしながら、SNS や ネット環境を巡る問題は、次々と新たな手口や課題が現れる状況にあります。今後も折に触れて指導を継続し、子供たちが事件や事故に巻き込まれないよう努めてまいります。保護者の皆様におかれましても引き続きご家庭での見守りとご協力をお願いいたします。一方で、一番減少している項目が No15 「地域の行事に参加している」でした。今期は、ドッジボール大会やマラソン大会のスポーツ行事がありましたが、地域のお祭りと比較して参加者が少なかったことも評価に影響したと考えます。

保護者 前期後期 比較



※グラフと表の値の誤差は、グラフは小数第2位までの数値で記載、表は小数第2位を四捨五入した数値のため。

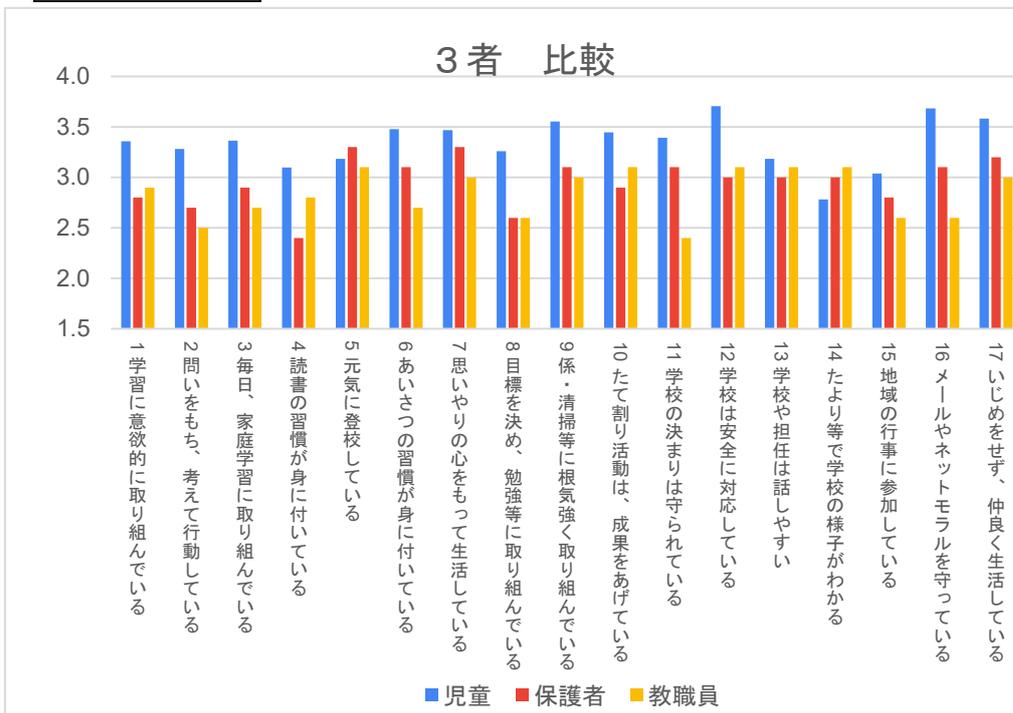
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
前期保護者	2.1	2.1	2.1	2.5	1.7	2.0	1.8	2.3	1.6	1.9	1.8	2.0	1.8	1.8	2.1	1.8	1.7
後期保護者	2.8	2.7	2.9	2.4	3.3	3.1	3.3	2.6	3.1	2.9	3.1	3.0	3.0	3.0	2.8	3.1	3.2

今回の評価では、ほぼ全ての項目において前期よりポイントが上昇いたしました。これは、本校の学校経営方針をご理解いただき、日頃から温かく支えてくださっている保護者の皆様のご協力の賜物であり、心より感謝申し上げます。保護者アンケートの結果を分析したところ、前期と比較して大きな変動が見られました。

No. 5「元気に登校」に関しては、学校でもトラブルの解決や行事の工夫に努めておりますが、何よりご家庭のご協力があってこそこの「元気に登校」であると、深く感謝しております。また、No. 9「係や清掃等の取組」については、本校が重点を置いている「黙働（黙って取り組む清掃）」の姿勢を高く評価していただき、職員一同励みになっております。No. 17「いじめをしない」についても、児童・保護者双方のアンケートで肯定的な結果となりました。良好な人間関係は、まず相手の気持ちを想像し、思いやることから始まると考えています。今後も道德の授業などを通じ、相手の立場に立って考える心の育成に継続して取り組んでまいります。

一方で、No. 4「読書の習慣」は、今回唯一数値が低下した項目となりました。興味深いことに、児童の自己評価では前期より0.1pt 上昇しており、児童と保護者の皆様との間で認識に差があることが分かります。後期も「読み聞かせ」の時間を計画しております。また、今年度からは低学年を対象に、公民館図書館の方による月1回の読み聞かせも導入いたしました。学校としても、引き続き本に親しむ時間を積極的に設けてまいります。読書は豊かな感性や語彙力を育む大切な活動です。ぜひ、ご家庭におきましても、本に触れる時間や環境づくりにご協力いただければ幸いです。

後期 三者 比較



後期	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
児童	3.4	3.3	3.4	2.8	3.3	3.6	3.5	3.3	3.6	3.5	3.5	3.8	3.2	2.7	3.1	3.8	3.6
保護者	2.8	2.7	2.9	2.4	3.3	3.1	3.3	2.6	3.1	2.9	3.1	3.0	3.0	3.0	2.8	3.1	3.2
教職員	2.9	2.5	2.7	2.8	3.1	2.7	3.0	2.6	3.0	3.1	2.4	3.1	3.1	3.1	2.6	2.6	3.0

今回の結果からは、児童・保護者・教職員の三者間で、認識に差がある項目がいくつかありました。特にNo. 11「学校のきまり」やNo. 16「ネットモラル」については、教職員の評価が児童を大きく下回る結果となりました。これは、子供たちの現状に対して教職員が抱く「さらなる成長への期待」の表れとも捉えられます。子供たち自身は「しっかり取り組んでいる」という自負をもっているため、その自己肯定感ややる気を削ぐことのないよう、まずは努力を認め、励ましながら、さらなる高い意識をもてるよう指導してまいります。

また、No. 6「挨拶」においても意識の差が顕著でした。児童は「挨拶をしている」と感じていますが、教職員側にはまだ十分ではないという認識があります。特に、登下校を見守ってくださるセーフティウォッチャーの皆様に対し、自分から爽やかな挨拶ができる子供を育てていきたいと考えております。

学習面「No. 2、3、8」については、保護者・教職員の数値が低く、共通の課題となっています。現在、担任を通じて家庭学習の習慣化を推奨しており、子供たちも「取り組んでいる」という認識をもっています。今後はその意欲を大切にしつつ、「内容の充実」に重点を置く必要があります。学校として、具体的な取り組み方の提示や、友達のノート紹介などを定期的に行い、質を高める工夫を凝らしてまいります。

※アンケートのご協力ありがとうございました。

ご指摘いただいた点は今後の学校経営に生かしてまいります。